



# 高等学校教材 日本概况

姜三真编写



高等学校教材

# 日本概况

姜三真 编写

吉林教育出版社

高等学校教材 日本概况

姜三真 编写

责任编辑：张岩峰

封面设计：王劲涛

出版：吉林教育出版社 850×1168毫米32开本 11印张 9插页 261,000字

发行：吉林省新华书店 1986年10月第1版 1989年4月第4次印刷

印数：9,180—10,570册 定价：3.80元

印刷：长春市印刷厂 ISBN 7-5383-0086-4/G.79

## 前 言

日本是一亿一千多万人口、面积约三十八万平方公里的君主立宪制的发达国家。有两千多年的历史 and 灿烂的民族文化。日本人民在漫长的历史过程中没间断过社会和文化的发展。日本民族是勤劳勇敢而又善于学习、应用先进文化的富有活力的民族。

日本社会自从进入阶级社会以来，就建立起神权和政权相结合的天皇制专制政治。历代统治阶级极力吹捧天皇的尊严，树立其绝对权威，利用这一至高无上的神化了的偶像，骗取日本人民的信赖，压榨日本人民，同时，对外发动疯狂的侵略战争。二十世纪三十年代以后，军事法西斯统治集团就借助“天皇”这个王牌，欺骗日本人民发动了侵略战争(达十五年之久)，导致日本人民沦于丧失民族独立和尊严的悲剧境地，也给被侵略的国家和人民造成了巨大的灾难。

战后，日本人民很快治愈了战争创伤，迅速实现了工业化，把国家建成世界上一流的拥有先进科学技术的发达的资本主义大国。这固然有其多方面的因素，但主要的原因是，近百年来重视教育、发展教育事业，靠开发人的智能因素的结果。

全面、正确地了解日本，是关系到加强中日两国人民的友好往来，经济、文化交流的重要问题。本书有助于理解，研究日本的过去和现在，汲取其长处，对我国的“四化”建设是有裨益的。

本书是作为高等学校日语专业用教材而编写的。因篇幅所限采取了“以现状为重点带过去和未来”的写法，使学生能有重点地学习掌握日本地理、历史、文化教育、经济、政治以及日本民族的风俗习惯的概貌。如日本地理以概述位置、地形、平原、河流

等自然地理，主要产业、交通、城市、旅游地为重点，并介绍行政区划、人口密度、资源开发、城市建设等概貌；日本历史以明治维新后迅速地走向近代化进程及半个世纪的战争史（日本帝国主义的形成、发展及其覆灭史）为重点，同时概述了原始社会、奴隶社会、封建社会的经济结构、社会政治制度、统治阶级内部的争权夺利及“农民暴动”，并介绍各个历史时期的文化和中日文化交流；日本文化教育以文化教育的成果及其为发展经济、科学技术所做出的贡献为重点，并概述了从江户幕府末期的“寺小屋”教育到现在走进世界先进行列的教育发展情况及今后的发展趋势；日本政治以现行的政治制度（国会、内阁、司法）、各政党的现状为重点，附带概述战前天皇制、政党的变迁情况以及外交等问题；日本人民的风俗习惯以衣、食、住、行和茶道、祭神、婚礼等现状为重点，附带解释其继承、发展传统习俗及其变化情况；日本经济以当前的发展现状及控制日本经济命脉的六大垄断集团的现状为重点，附带叙述经济高速增长原因、途径，并分析今后靠商品输出、资本输出、技术贸易来发展经济的趋势。

书中附了四十多幅插图、示例和统计表，书后附有“难读汉字表”、“旧国名都道府县对照表”及“日本历史年代表”。

本书在编写过程中得到了在中国讲学的日本专家和日本《朝日年鉴》编辑部的小泉钦司先生以及申泰海教授、张贤淳、金锋玉、李光宇等同志的热情帮助和指教，特别是吉林教育出版社在此书的编辑出版过程中给予了大力支持，在此一并致以谢意。

姜三真

一九八五年七月



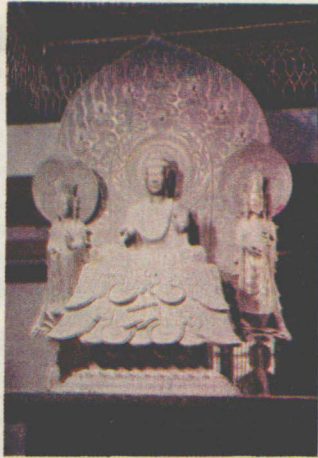
縄文土器



聖德太子像



玉虫厨子



釈迦三尊像(法隆寺)



鑑真和上像



仁徳天皇陵

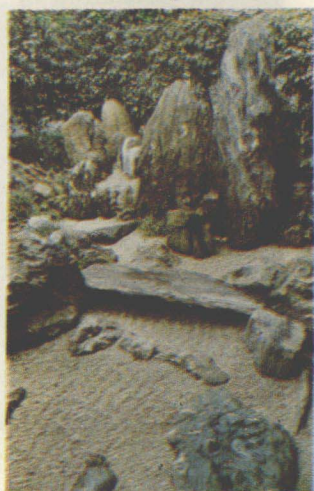
平等院鳳凰堂



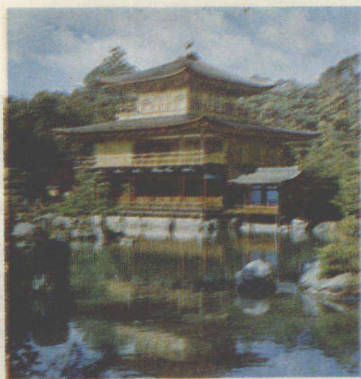
金剛力士(東大寺)



中尊寺の金色堂



枯山水庭(大仙院)



金閣(鹿苑寺)



姫路城





秋冬山水图

歌舞伎



(大正) 油小染



友禅染小油

陽明門(東照宮)

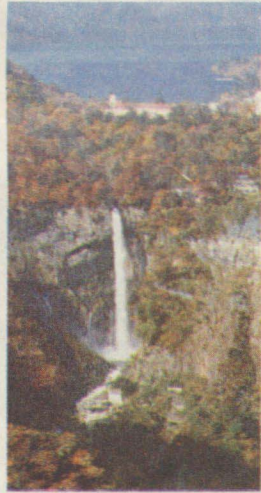




富士山



新幹線



華嚴の滝



茶道



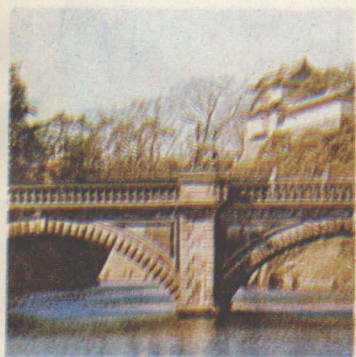
剣道



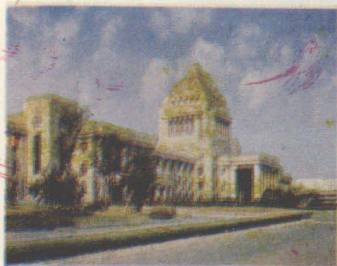
お祭り



鯉のぼり



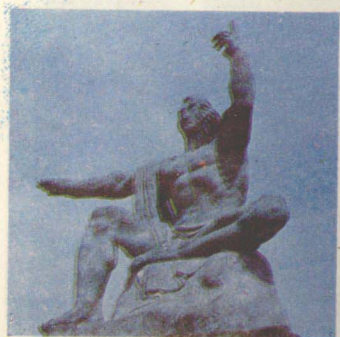
皇居の二重橋



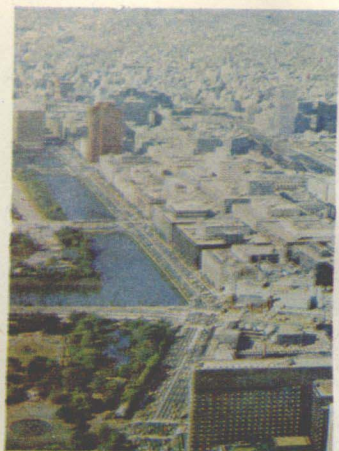
国会議事堂



最高裁判所



長崎平和記念像



丸の内商業区



京浜工業地帯



東京国立体育館

# 目 次

<b>第一章 地理</b> .....	( 1 )
<b>第一節 位置と自然</b> .....	( 1 )
一 位置、面積、人口.....	( 1 )
二 自然.....	( 2 )
<b>第二節 行政区と交通</b> .....	( 11 )
一 全国の行政区.....	( 11 )
二 交通.....	( 13 )
<b>第三節 諸地域</b> .....	( 17 )
一 北海道地方.....	( 17 )
二 東北地方.....	( 20 )
三 関東地方.....	( 24 )
四 中部地方.....	( 28 )
五 近畿地方.....	( 32 )
六 中国・四国地方.....	( 37 )
七 九州地方.....	( 40 )
<b>第二章 風俗習慣</b> .....	( 46 )
<b>第一節 風俗習慣</b> .....	( 46 )
一 茶道.....	( 46 )
二 お祭り.....	( 48 )
三 結婚式.....	( 51 )
四 お葬式.....	( 53 )
五 着物.....	( 54 )
六 食事.....	( 56 )

七 住居	( 58 )
第二節 年中行事	( 59 )
<b>第三章 歴史</b>	( 67 )
第一節 古代の日本(原始社会)	( 67 )
一 古代日本のなりたち	( 67 )
二 弥生式文化	( 72 )
第二節 奴隷社会	( 75 )
一 奴隷制の発生	( 75 )
二 国土の統一	( 76 )
三 日本社会の文明	( 80 )
四 律令政治のはじまり	( 81 )
五 律令政治のおとろえ	( 87 )
第三節 封建社会	( 94 )
一 封建社会のはじまり	( 94 )
二 封建社会の完成とおとろえ	( 106 )
第四節 近代日本のなりたち	( 120 )
一 明治維新	( 120 )
二 立憲政治のはじまり	( 131 )
三 日本の近代化とアジア	( 136 )
第五節 現代日本と日本帝国主義の滅亡	( 149 )
一 第一次世界大戦と日本	( 149 )
二 第二次世界大戦と日本帝国主義の滅亡	( 158 )
第六節 第二次世界大戦後の日本と世界	( 169 )
一 占領政治下の諸改革	( 170 )
二 国際社会における現代の日本	( 179 )
<b>第四章 政治</b>	( 188 )
第一節 国家制度と国家機関	( 188 )
一 天皇	( 191 )

二 国会	(194)
三 政府	(199)
四 司法	(208)
第二節 政党	(214)
一 自由民主党(略称自民党)	(214)
二 社会党	(216)
三 民社党	(217)
四 公明党	(218)
五 共産党	(219)
六 新自由クラブ(略称新自ク)	(221)
七 社会民主連合(略称社民連)	(222)
第三節 外交	(222)
一 戦後日本外交の基本的立場と基本的政策	(222)
二 日本と各国との関係	(228)
第五章 文化教育	(239)
第一節 文化	(239)
一 新聞報道	(239)
二 出版業	(242)
三 文化賞	(242)
第二節 スポーツ	(243)
第三節 教育の成果と展望	(244)
一 維新以来教育の改革と発展	(244)
二 戦後の学校教育	(245)
三 教育の経済・科学技術発展に果たした役割	(250)
四 第三回教育改革と発展趨勢	(253)
第六章 経済	(257)
第一節 戦後経済の高度成長とその要因	(259)
一 戦後特定の歴史条件	(259)



二 高度成長の要因 .....	(260)
第二節 日本経済を支配している	
六大独占企業集団 .....	(267)
一 六大独占企業集団の新勢力図 .....	(268)
二 六大独占企業集団の概況 .....	(271)
第三節 目下日本経済の主な問題と発展趨勢 .....	(284)
一 直面する矛盾と危機 .....	(284)
二 日本経済の発展趨勢 .....	(293)

附録 .....	(302)
一 難音難訓漢字表 .....	(302)
1 地理 .....	(302)
2 風俗習慣 .....	(307)
3 歴史 .....	(314)
4 政治 .....	(333)
5 文化教育 .....	(336)
6 経済 .....	(338)
二 旧国名都道府県対照表 .....	(340)
三 参考書目 .....	(342)